

帯広東ロータリークラブ会報



2018-2019年度

帯広東ロータリークラブ

会 長 益子 裕之

幹 事 池田 誠

メディア委員長 加藤 雄樹

前進への挑戦

第1618回例会

平成30年7月10日(火) 於 ホテル日航ノースランド

■創立:1984年6月15日 ■認証:1984年6月18日 ■例会:毎週火曜日 12:30~13:30
■事務局:帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会場:ホテル日航ノースランド帯広



2018-2019年度 国際ロータリーテーマ
【インスピレーションになろう】
2018-2019年度国際ロータリー会長
バリー・ラシン

ガバナーテーマ
【行動するロータリー、つながるロータリー】
国際ロータリー第2500地区 ガバナー
細川 吉博

- ◎起 立 宮前克則 副SAA
- ◎友情の握手 宮前克則 副SAA
- ◎点 鐘 益子裕之 会 長
- ◎開会宣言 宮前克則 副SAA
- ◎ロータリーソング (奉仕の理想)
- ◎ゲスト紹介 益子裕之 会 長
米山記念奨学生 潘 志飛 様
- ◎会 食

会長挨拶

益子裕之 会長



平成30年7月豪雨において、西日本を中心として200名以上に及ぶ犠牲者。また、行方不明者を出すに至りました。心よりご冥福をお祈りいたしますと共に被害を受けた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

連日、テレビ報道などで目にする光景は私達の想定を超えた悲惨なものばかりです、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。一昨年、北海道を襲った台風10号と比べその規模において大きな違いがある事に間違いはないように思います。自然の力の前には人間はいかに無力なものかと実感させられました。当クラブといたしましても被災に苦しむロータリークラブ、ロータリアンに向けて激励や何らかの支援できればと考えております。

さて、先日行われました親睦・SAAの合同打ち合わせに参加させていただきました、今年度の活動にむけて活発な話し合いに感謝申し上げますとともに前進への一歩を感じる事が出来ました。何やら楽しみな映像が目に見えよう、クラブ会員全員の総意と親睦に大いに期待し会長挨拶といたします。

米山奨学金授与



益子会長より 潘 志飛 様へ

会務報告

池田 誠 幹事

- ◎帯広東RC、臨時総会開催のご案内
日時 平成30年7月17日(火)午後0時30分(例会時)
場所 ホテル日航ノースランド帯広
議題 決算・予算について
- ◎帯広東RC、夜間移動例会開催のご案内
日時 平成30年7月24日(火)午後6時30分
場所 プレミアホテルC A B I N帯広
屋上ビアガーデン(旧ホテルパコ帯広)
会費 2,000円
- ◎帯広東RC、7月31日(火)は休会と致します。

委員会報告

親睦活動委員会 大池梨華 委員長

皆さんこんにちは。先程幹事の方から報告ありましたように、7月24日6時半夜間移動例会があります。会費の方が2,000円で雨天の場合は延期とさせていただきます。おってご連絡させていただきます。よろしくお願いいたします。



委員会報告

ローターアクト委員会 及川武一 委員長

皆さんこんにちは。ローターアクト委員会です。帯広ローターアクトクラブの7月の第3例会でビールパーティーを企画しております。日時が平成30年7月20日金曜日例会として19時から20時30分、2次会として21時から23

時という事で例会場としてとかち館です。例会の方でメイキップ込みで会費が4,000円となっております。7月20日に開催しますので人数の確認が本日となっております。参加されたい方おられましたら例会後にも私の方にお知らせ下さい。よろしく願いいたします。



出席報告

出席・プログラム委員会 石川博機 委員長

22歳の納大輔君と96歳福岡正雄さんを含めまして、本日の出席は29名です。どうもありがとうございます。



昨年の出席報告

出席・プログラム委員会 上野敏郎 委員長

昨年度の出席委員会の報告であります。出席率100%90%の会員については表彰対象になります。皆さんから頂いたメイキップのカードを十分に活用しながら一覧表を作成しました。間違い等がございましたら2・3日の間に私の方にご連絡を頂ければと思います。よろしく願い致します。ありがとうございました。



プログラム

メディア委員会

【新入会員卓話】

加藤 肇 副委員長

皆さんこんにちは。本日の卓話はメディア委員会でございます。加藤雄樹委員長欠席のため副委員長の加藤肇が進行します。

本日は新入会員卓話という事で、お二方をお願いしております。最初に納大輔会員続いて山口信博会員をお願いしたいと思います。それでは最初に納大輔会員よろしく願いいたします。

納 大輔 会員

皆さんこんにちは。今回は畜産業についての話、私の牧場の事、将来どうなって発展していきたいか等を話させて頂きます。人前で長く話しをしたことがないので、分かりにくい点や聞き取りにくい点があるかと思いますが、よろしく願いいたします。



私は平成8年4月に池田町千代田に生まれまして22歳になります。高校は帯広農業高校に進学しました。高校3年生の頃に酪農学園大学が帯広畜産大学に進学をしようと思っていけるように勉強をしておりました。ですが高校3年生の春の時に私の母親が成人スティル病という難病になってしまい、進学を辞めて実家の牧場に就職を決めました。

私の牧場は私の曾おじいちゃんが、昭和32年の頃に当時、薪と牛を交換して2頭ほど牛をもらったのが最初の始まりだと聞きました。

その当時の牛舎は全部自分達で作っていて、昔の人は知恵があり凄いなと仕事をしながら感じています。ちなみにその牛舎は今でもメインで使っています。

その後におじいちゃんが後を継いで、牛を12頭に増やして酪農をやっていました。私の父が根室出身で昭和61年に十勝に来て、幕別町の藤原工業さんで働いていた頃に私の母と出会い、私の父が婿として平成4年に牧場を継ぎました。当時12頭からの出発は池田町でも下から3番目くらいだったので、とても大変だったのだと思います。

当時は酪農と少しだけ畑作もやっていました。当時は豆と麦を作っていました。平成23年の1月に法人化しまして、現在では乳牛と肉用牛の複合経営で800頭ほど飼養しております。

基本的には乳牛・肉用牛をどちらも飼養するのは余りないのですが、生まれた子牛はとても下痢をしやすく牛を売りに出す事が出来なくて、しょうがなくて家に置いていたのですが、私の近所では肉牛を専門でやられている方がとても多く、地域の集まりに出たりすると肉牛の飼養管理の技術など沢山教えてもらう機会があり、それならお肉になるまで家で飼ってみようというのが始まりで、乳・肉の複合経営になりました。

牛というのはとても痛みに耐えられる動物で、麻酔をしなくても手術をすることが出来ますし、去勢もすることが出来ます。そして人間でいうところの3歳児の頭脳はあるといわれています。ですが、非常に病気にかかりやすい動物です。細菌やウイルスに感染しやすく、すぐ具合が悪くなってしまって、そのまま放って置くとそのまま死んでしまう弱い動物です。

私の牧場では恥ずかしい話で昔は技術がなくて沢山牛が死んでしまう事がありました。本当に経営的にも圧迫する要因で、自分達で治療のやり方を覚えていこうとして、それから獣医学や栄養学の勉強をして、今では獣医さんと変わらない位の処置を家の牧場の従業員さんたちが自分で出来るようになりました。それのおかげで今800頭程まで増やしてこれました。

今世界的見て牛肉の消費量が急激に増えて来ていて、牛が足りない位になって来ています。十勝管内でもドンドン生産量を増える牧場が増えてドンドン規模が拡大されて来てます。牛の価値事態もドンドン上がって来ていて、10年前だと妊娠している牛の親牛は約40万円前後で取引されていたのですが、今では90万円前後に上がって来ています。1頭100万円の時代とよばれています。

現在はITの時代になって来ていますが、農業にも普及されていて、最先端の牧場では人ではなくロボットが搾乳するというのが導入されて来てます。酪農といえば朝4時から起きて2時間から3時間かけて毎日休みなく搾乳をしなければいけないという辛い仕事なのですが、ロボットを導入すると24時間体制で牛が自分で搾乳されることになり、自動的に搾乳されるというシステムが出て来ました。

それだけではなく、大変な除糞作業とか餌やりなどもロボット等がやるようになって来ています。トラクターなどもとても大きなものも出て来ていて、自動操縦機能というのも付いており人が乗らなくてもいいものが出て来ています。

こういった物のおかげで生産量を増やしている一方で、規模拡大が進み牧場の戸数は減少しているのが現状です。将来的に生き残っていくには、経営的な戦略がとても大事だなと考えています。

その中の一つで私の牧場でも一番苦労しているのがやはり人材です。私は4人兄弟で一番末っ子で姉が3人いるのですが、そのうち2人は牧場を手伝ってくれています。総勢で18名いるのですが、6人は家族5人は外国人の研修生が来ています。今は外国人の研修生がいないと回らない状態です。日本人の方をもっと増やしていききたいのですが、中々集まらず定着せずに苦労しています。

私はまだ年齢が若いですが、立場をもらっている以上は現場では年上の人に指示をしていかなければならない事が沢山あり、それをどういうふうに理解して動いてもらえればいかなど、考えながら仕事をしています。

そして外国人の研修生が5人いるのですが今はフィリピンから来ています。フィリピンは物価が日本の半分位で、1日100円で生活している子が沢山います。家に来ている外国人の研修生の方々も1日100円で暮らしている方がほとんどです。なので日本に来たら給料がフィリピンにいる頃より単純に倍はもらえるので、ものすごく働いてくれます。

そして日本語の勉強は日本に来る前に2ヶ月、日本に来てから3ヶ月間、日本語学校で勉強しているのでやはり頭はいいです。今までだとインドネシアや中国やベトナムの方も来てもらったことがあるのですが、皆さん頭のいい人ばかりでした。日本語も仕事に支障がないレベルで話すことが出来ます。

今年の11月に法律が変わって、外国人の人たちも就労ビザを取れるようになると聞きました。そうすればますます外国から人が来ると思うので、もう少し言葉の壁さえクリアすれば日本人だけでなく、本当に外国の方と一緒にやっていくというの、考えられるなと私は考えています。

そして数年前から少しずつ増えてきた、6次産業化にも私は注目しています。今となっては沢山の牧場や農場の人が都会や地元の町に、焼肉屋さんやアイスクリームのお店など地元の町に出しているのですが、それは私はいいいことだと思っています。私自身自分の家で育った牛の牛乳は小さい頃から沢山飲んでいますが、牛肉の肉の質とか実際に育った牛を食べてみるということはほとんどありません。自分の生産しているものを自分で知人の方に提供できるというのは、6次産業化の最大の魅力だと思っています。

十勝川温泉の通りに大地の匠というお店が出来ましたが、そこも芽室の牧場さんが6次産業化として出しているのですが、私の牧場の知り合いなのですが、やっている人の話を聞いたり行ってみたりすると、私も漠然とで

すが将来的に自分の牧場で育った牛を焼肉屋さんなどを通して味わってもらえたらいいなと思っています。それが一番うれしい事だなと思っています。

自分自身の将来としましては、人に影響を与えられるような人間になりたいと思っています。会社を運営していくことは1人の力で出来ませんが、1人の力が与える影響はとても大きくて、それを感じることが沢山あります。なので私も関わってくれてる人や会社などに、大きい影響を与えられるようになりたいと思っています。

この東ロータリークラブに入会させてもらった時、皆さんとお会いした時、ひとり一人の方がとても色々な経験をされている人なんだと凄く伝わってきました。凄いなと感動もしました。それと同時に自分で大丈夫かなという不安もありました。ですが私も齊藤先生にお誘いを頂いて自分で入会すると決めてきたので、この東ロータリーで頑張るんだという覚悟もしました。

例会に参加する度に沢山の先輩の方が、ロータリーについての話や受付のやり方やいろいろな事を優しく指導して下さい本当にありがたいと思っています。

入会してまだ約3ヶ月でまだ何も分からないですが、沢山のロータリーの本を読んだり積極的に例会などに参加したりして、諸先輩達のようになっていきたいと思っています。

これからも迷惑をかける事があるかと思いますが、その時にはまた沢山ご指導頂ければと思っています。

今後ともよろしく願いいたします。以上で終わります。ご清聴ありがとうございました。

山口信博 会員



皆さんこんにちは。山口信博でございます。今日はこの場で立たせて頂きまして大変緊張しておりますけどお話をさせていただきます。

生い立ちなのですが新潟県の長岡市で生まれました。当時は栃尾市という市なのですが当時人口3万人もいなくて、十数年前に長岡市に統合になりました。生まれは栃尾ということでありまして、歴史上で有名な方という上杉謙信が春日山城に入る前の時に栃尾城という山の天辺に城がありそこで上杉謙信が長尾景虎と名乗っていたときに住んでいたという土地柄でございます。

今は実家の方は長岡でございます。長岡の方はこちらのほうも有名な方もいまして山本五十六出身であり、あと田中角栄の出身でもあります。私の生まれはそういう土地柄でございます。本当に田舎育ちで高校まで長岡に住んでいました。

私の名前は山口信博と申しまして、信博というのは信じるの信に博士の博ということで、私の父が博美という名前でございます。博というのは私の信博の博の名前から私の信博になったのですが、信という字は信じるの信ですね、私も親から人に信頼されたり人のことを信じるという思いで、名前が信博というふうに小さい頃から思っていたのです。

ところが信博の信のいわれは私の名前の信というのは

実はそうでなかったのです。実は私の親から聞いたのですが父の付き合っていた前の彼女が信子なのです。私の父親が最初に生まれてくる子は、自分の好きだった信の名前を付けたいというようなことで、私が長男でございましたので信子の信を取りまして信博ということでございます。

最近私の弟と妹がこのことを知りまして、私は実は中学校の時にはその話は知っていたのですが、妹と弟は最近知りまして大変なことを聞いたよと、兄ちゃんということですが、信博の信というのは父親の前の彼女の信子らしいよと、これはもう知っているよとそのような話もありました。

高校まで長岡の方におりまして、バスケットボールをやっております、そのバスケットボールで高校を卒業した後に、今の仕事は生命保険なのですが、体育の先生になりたいと思ひまして自分のバスケットボールのチームを作ってインターハイにでれるようなチームを作りたいなと夢がありました。そういった夢があったものですから、高校卒業と同時に日本体育大学に入学いたしました。

そこでバスケットボールやっておりました。1年ほど経ったときに足を壊してしまいました。バスケットボールで入学したものですから、私も立場もあり急遽大学も辞めました。もう一回大学を受け直して獨協大学という所に入学しました。

卒業後に住友生命に入社という形なのですが、住友生命は保険の仕事ということよりも、全国を回りたいという夢がありまして、全国回るにはどういう業界がいいかなということで最終的にわかったのは、生命保険の業界ということがわかりました。南は石垣島から北海道は北見の網走近くまで営業所がある営業所の仕事も携わることができる、全国を回ることができるので住友生命に入社したわけでございます。

私を東ロータリークラブに加藤肇社長から紹介させて頂き、今日この場で立たせて紹介させて頂かせて本当にお客様も多数いらっしやりまして、日頃から大変お世話になっておりますし、会社の方は今は営業日ということで営業所の職員が女性なのですが約100名ほどおります。実は私が3月の末に着任いたしました、夢と目標がございます。その夢と目標というのがこの十勝地区で人材を多さで業界で1番になりたいなという思いで3月26日帯広にまいりました。

実は金曜日から出張で東京の方にいっております、今朝羽田から帯広の空港に来まして今日こちらの方に参ったわけでございますが、月曜日に全国の私と同じような立場のメンバーが約100名程おりまして、全国で集まって年4回でございますけど人材を募集しております。人材募集というのはどのような経緯かと申しますと、ほとんどが既存で働いていらっしやる営業所職員の方々からのご紹介なのです。女性のご紹介に営業所の女性会から採用して入社に至っているとその人数が、おかげさまで7月入社は全国で帯広営業所が1番ということで、本当にうれしい会議でございました。

業界で1番の人材陣容を優秀人材を確保して、幅広い

お客様のサービス・質の向上こんなことを住友生命、保険の仕事で私も人と金で成り立っている仕事でございますから、やはり人ありきということでございまして、そのようなことを目指してございます。

最後に1つPRさせて頂きたいと思うのですが、実は今、国でも自治体でも健康経営というものが推奨されて来ております。住友生命も健康経営携わりまして今チヨットCMも少し流させて頂いているのですが、瑛太さんが走れメロスの様に走っているCMになっています。これは私共の健康増進型保険といいましてこれが7月24日からの発売になります。これはどういうことかと申しますと、今までの保険といえますのは何かリスクに備えてご加入頂くというのが通例なのですが、私どものバイタリティという商品は身体にチヨット良いことをしながら、保険料が割引されると同時にいろんな特典を受けられるという内容になっております。

今4つの生活習慣病、良くいわれるのが運動不足・不健康な食生活・喫煙・過度な飲酒ですね。私も反省するところが過度な飲酒なのですが、ここは僕も直さないといけないところなのですが、こういう4つの生活習慣病が4大非感染疾病つまり、癌・糖尿病・心筋梗塞・脳卒中ということなのですが、この四大の疾病が世界の死亡原因の60%をしめているといわれております。

この私どもが今回発売するバイタリティという名称の名前なのですが、先程申し上げました健康になっていくことによって保険料が下がっていくと、つまり身体にちょっと良いことしながら健康になっていくことによって、そして社会にもいろいろ社会保険料の費用が大変な状況になっている中で、国にもお客様にも貢献しようという商品が7月24日から発売というかたちになります。

先程申し上げました4大疾病の一番大きい病気であります癌なのですが、癌の健康診断をしていくことによってリスクを半分減らすことができるといわれております。一つは先程申し上げました、たばこ・節度ある飲酒・食生活・少しは身体を動かす・適正体重の維持この5つの健康習慣を実践することによって、癌のリスクを半分減らすことができるといわれております。こういったところを私も商品をうけて、お客様サービスに向けた質の向上と、私達がいつも唱和しております「お客様の未来を強くする」内容の視点をもってこれからも頑張っていきたいと思っております。

ちょっとまとまりのないお話になりましたけど、ご清聴ありがとうございました。

◎閉会宣言

◎点 鐘

宮前克則 副SAA

益子裕之 会 長

次週プログラム予定

理事会

7月17日(火)「臨時総会」決算・予算